

平成 22 年 8 ~ 9 月号 (第 3 号)

アトリエかわら版

特別養護老人ホーム アトリエ村 長崎 4 - 2 3 - 1 5 9 6 5 - 3 4 0 0 発行責任者 岡本千鶴子

猛暑



連日猛暑が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今回は「夏の風物詩」ということで、納涼祭を中心にお届けします。

納涼祭



8月22日(日)納涼祭が行われました。まずは、「中野レファ・カマイナス」によるハワイアンショーに始まり、炭坑節や東京音頭に合わせたの盆踊り、スイカ割り、そして夕暮れ時からは正面玄関前にて花火の観賞と盛りだくさんの内容でした。ご利用者の皆様も「ハワイアンショーよかったねえ」「昔はよく踊ったわ」など好評でした。



「月の砂漠」を一緒に歌いました。



スイカ割れるかな？



町会有志の方たちと一緒に踊りました。



締めくくりは花火です。思わず歓声と拍手！！

買い物サロン

9月5日(日)素敵な“洋服屋さん”がアトリエ村にやってきました。当日はご利用者18名ご家族9名が参加され、真剣な眼差しで服を選んだり、どれが似合う



のか相談したり楽しいひと時を過ごされていました。次回も企画しますのでご期待ください。

子ども神輿

9月11日(土)町会の子供みこしが1階を練り歩きました。威勢の良い掛け声に合わせて手拍子を打ち、子供たちからたくさん元気ももらいました。



畠中ケアワーカー帰国報告会

8月11日(水)夜、日系社会青年ボランティアとして2年の任期を終え、帰国した畠中ケアワーカーの帰国報告会が行われました。報告会ではスクリーンに写真等を映しながら、アルゼンチンにおける日系社会の歴史やどのような活動を行ってきたのかなどについて話があり、異国のとても興味深い内容でした。下に、本人からの寄稿文を紹介いたします。



JICA 日系社会青年ボランティアとして、アルゼンチン共和国に派遣されておりました。6月末に任期を終え無事帰国致しましたので、この場を借りて帰国の報告をさせていただきます。アルゼンチンで私は、日系社会の『高齢者福祉対策』をおこなってきました。主な任務は、日本の介護予防プログラムの普及と技術移転、そして福祉教育による人材育成で、具体的に言うと、介護予防体操の実践と指導者育成、小中学生向けに高齢者疑似体験教室を実施することなどでした。本当に充実した2年間を全うすることができ、この経験は人生の視野を大きく広げたと実感しています。この経験を少しでも日本の介護現場、まずはアトリエ村での仕事に還元できるように努めてまいりますので、これからも宜しくお願い致します。

ボランティアの集い

日ごろよりアトリエ村でボランティア活動をしているボランティアの皆様が一堂に会する、ボランティアの集いを9月5日(日)に行いました。上半期の活動報告と約50名の参加の皆様との活発な意見交換が行われました。アトラクションは永由様によるピアノコンサートがあり、素晴らしいひとときとなりました。



お知らせ

ようこそアトリエ村へ

小原様 田崎様 佐々木様

お誕生日おめでとうございます(8月・9月)

宮本様 田島様 金子様 永島様 安武様

田中(貞)様 小暮様 土山様 松山様 佐藤(初)様 菅浦様

新しいスタッフの紹介

・齋藤 結香 ケアワーカー

・松本かりん ケアワーカー

皆様どうぞよろしくお願い致します。

慎んでお悔やみ申し上げます

鈴木様 入澤様 國友様

編集後記

今回のかわら版はいかがでしたでしょうか。この後も、敬老会、バザーなどの催しが続きますので、次回をお楽しみに。残暑が続きますのでお体に気を付けてお過ごし下さい。(森田)